

**平成 29 年度
個人のSD宣言
(事務職員)**

平成29年度個人のSD宣言

[氏名 野崎豊子]

個人のFD宣言 (P)	
① 明るく・やさしく・スピーディーな対応 ② 現状に適した教育環境の整備 ③ 業務の改革・改善の積極的な推進	
行動目標 (D) それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
① 学生への積極的な声かけと、明るい対応 ② 校舎改修後の施設設備と使用状況との確認 ③ 業務の見直し ④ 研修会への積極的な参加	
評価基準 (C) ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。 年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
① 学生の顔と名前を50人以上覚え、声かけができて 「3」	1 ② 3 4
② 卒業時の満足度が前年度よりアップして 「3」	1 2 3 4
③ 使用状況に応じた施設設備の改善ができて 「3」	1 2 ③ 4
④ 業務の改革・改善ができて 「3」	1 2 ③ 4
⑤ 研修会への参加ができて 「3」	1 ② 3 4
評価結果に基づく改善方策の策定 (A)	
① 学生への声かけは積極的に行ってきたが、具体的な人数等になると客観的根拠を示すことはできなかった。SD活動等で具体的な数値目標を立て取り組むことも必要と感じる。 ② 満足度調査の質問内容の再検討も必要となっているのではないかと。 ③ 年間を通じて新館及び本館が使用可能となり、状況確認ができた。更に臨機応変に対応することにより、より改善ができると思う。 ④ 常に業務改善は心がけているので、次年度も積極的に取り組みたい。 ⑤ 近年、意識的に次世代への公的な研修会参加を奨めていたが、その考えも継続しつつ、参加できる研修会へは積極的に参加するよう努めたい。	

平成 29 年度個人の S D 宣言

[氏名 河野 包]

個人の F D 宣言 (P)		
① 明るい挨拶を心がけ、相談しやすい雰囲気を作ると共に一致協力して業務に当たる。 ② 本学教員との連携を密にし、全教職員が一丸となって取り組む環境を整える。 ③ 計画的かつタイムリーに高校訪問を行うと共に各種進学説明会に積極的に参加する。 ④ 生徒・保護者・高校側が求める情報やニーズを素早くキャッチし募集に役立てる。 ⑤ 定員充足率 100%を目指す。		
行動目標 (D) それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。		
① 自ら進んで大きな声で挨拶をする。また、入試広報室に入って来やすい雰囲気を作る。 ② 教員の研究室をできるだけ訪問し意思疎通を図る。 ③ 県内の全高校を 2～3 回必ず訪問する。また、近隣県の高校にもできるだけ足を伸ばす。 ④ 宮崎学園高校へは計画的な訪問の他、適宜訪問し、情報の共有に努める。 ⑤ 求める情報やニーズを的確に掴み、それに基づいた資料を作成し、募集に役立てる。 ⑥ 高校訪問、進学説明会、模擬授業、オープンキャンパス、ホームページ、SNS などあらゆる方法や手段を用い、学生の獲得に努める。		
評価基準 (C) ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。		評価結果
年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)		
① 学生や教職員に対し、常に声を出して挨拶することができて	[3]	1 2 ③ 4
② 全教職員の名前を覚え、絶えず情報交換することができて	[3]	1 2 ③ 4
③ 計画した高校訪問や進学説明会に 8 割以上参加することができて	[3]	1 2 ③ 4
④ 収集した情報を基に資料を作り、それをうまく活用することができて	[3]	1 2 ③ 4
⑤ 定員充足率が 90%に達して	[3]	1 2 ③ 4
評価結果に基づく改善方策の策定 (A)		
先生方との情報交換を更に緊密に取り合っていきたい。		

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された

平成29年度個人のSD宣言

[氏名 森山裕文]

個人のFD宣言 (P)	
① 施設設備の維持・管理に努め、効率的な利用を推進する。 ② 学生に名前を覚えてもらう。 ③ スクールバスの円滑な運行管理に努める。	
行動目標 (D) それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
① 利用状況を把握し、定期的な点検を実施する。早期対応を心がける。 ② 名札着用を継続し、学生の名前を呼んで言葉かけを行う。 ③ 担当職員と調整し、効率的な運行計画を作成する。	
評価基準 (C) ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。 年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
① 定期的な点検・報告ができて「3」	1 2 ③ 4
② 50人以上の学生から名前を呼ばれるようになって「3」	1 ② 3 4
③ 円滑なスクールバスの運行管理ができて「3」	1 2 ③ 4
④	1 2 3 4
⑤	1 2 3 4
⑥	1 2 3 4
評価結果に基づく改善方策の策定 (A)	
今年度の取組を次年度も継続し、業務改善・効率化を検討する。	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された

平成 29 年度個人の S D 宣言

[氏名 古谷 百合子]

個人の F D 宣言 (P)	
① 先ず、仕事を覚える。教務課の業務の流れを把握しスムーズに運べるよう協力し仕事にあたる。 ② 学生への声掛けを通して、コミュニケーションを図り、相談等しやすい雰囲気づくりを心がける。 ③ 本学の P R	
行動目標 (D) それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
① 業務マニュアルの熟読。連携し仕事にあたる。 ② 学生の名前と顔が一致できるよう努める。 ③ 各種学校行事等に積極的に参加して少しでも外部に発信できるよう心がける。	
評価基準 (C) ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。	評価結果
年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	
① 保育士特例講座、教員免許状更新講習がスムーズに運べて「3」	1 2 ③ 4
② 各種入試業務が連携し実施できて「3」	1 ② 3 4
③ 学生に名前で声掛け、挨拶ができて「3」	1 2 ③ 4
④ 各種研修会、学校行事に積極的に参加して「3」	1 2 ③ 4
⑤ 再課程認定に関する業務が連携し運べて「3」	1 ② 3 4
	1 2 3 4
評価結果に基づく改善方策の策定 (A)	
教務課に異動となり 1 年目、全体の業務については連携できていたと感じるが、個人的に感ったことが多かった。来年度に向けて初心を忘れる事のないよう真摯に業務に当たりたい。学生が相談しやすい窓口対応を心がける。	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された

平成 29 年度個人の S D 宣言

[氏名 田村 広美]

個人の F D 宣言 (P)	
① 就職希望者全員に個別面談を実施し、進路や活動状況を把握する。 ② 学生個々の状況を担当教員と共有し、連携を図り、全員就職を目指す。 ③ 就職率 100% を目指す	
行動目標 (D) それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
① 就職希望学生と面談し、就職支援に活かす。 ② 担当教員と学生の状況データを共有し、連携を図る。 ③ 情報発信を早めに行い、就職率 100% を目指す。	
評価基準 (C) ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。 年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
① 個別面談が、全体の 80% 以上できて「3」	1 2 ③ 4
② 面談・相談内容を個別に記録することが 90% 以上できて「3」	1 2 ③ 4
③ 求人依頼活動が、300 件以上できて「3」	1 2 ③ 4
④ 担当教員との連携データを、10 月から共有できて「3」	1 2 3 ④
⑤ 2 月末までに就職内定率が、85% 以上で「3」	1 2 3 ④
評価結果に基づく改善方策の策定 (A)	
学級主任との情報交換を例年よりも早めに行ったので、就職支援に活かすことができた。	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された

平成 29 年度個人の S D 宣言

[氏名 湯地 寿]

個人の F D 宣言 (P)	
① 迅速・正確な事務作業を心がける。 ② 学生の顔と名前を覚える。 ③ 本学の PR。	
行動目標 (D) それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
① 年間行事を確認しながら、取りかかりを早く余裕を持って業務を遂行する。 ② 学生の顔と名前を一致させて覚えるよう努める。 ③ 参加可能な本学行事を知人に PR する。	
評価基準 (C) ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。 年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
① 緊急事案は別にして予定通り業務が遂行できたら「3」	1 ② 3 4
② 30人覚え、声かけできれば「3」	① 2 3 4
③ 本学行事を PR し、知人が参加すれば「3」	1 ② 3 4
	1 2 3 4
	1 2 3 4
	1 2 3 4
評価結果に基づく改善方策の策定 (A)	
思っていたよりも余裕をもって業務遂行できていなかったように感じる。	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された

平成29年度個人のSD宣言

[氏名 波江野 祥代]

個人のFD宣言 (P)	
① 正確で迅速な処理。 ② 安心できる対応をする。 ③ 円滑な業務の推進。	
行動目標 (D) それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
① リストをもとに集中して作業をする。 ② 明るい笑顔と丁寧な言葉かけをする。 ③ 目配り、気配りをする。	
評価基準 (C) ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。 年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
① 予定通り業務がこなせたら「3」	1 ② 3 4
② 調査等の早めの取り掛かりができたなら「3」	1 ② 3 4
③ 視線を合わせてあいさつ・会話ができたなら「3」	1 2 ③ 4
④ 書類整理が正しくできたなら「3」	1 2 ③ 4
	1 2 3 4
	1 2 3 4
評価結果に基づく改善方策の策定 (A)	
※今回は、記入しないでください。 思ったより時間がかかり予定通りに行かないことが多かったので、余裕を持って取り掛かりたい。	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された

平成 29 年度個人の S D 宣言

[氏名 津曲 肇]

個人の F D 宣言 (P)	
① . . . 正確で迅速な業務処理を行う ② . . . 学生にわかりやすい指示、説明、連絡に心がける ③ . . . 学園の P R に努める	
行動目標 (D) それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
① 成績管理と記録、入試事務、授業と補講の管理に関する業務内容に対する迅速で正確な計画、取りかかり、遂行、記録を行う ② 学生が理解しやすく正確で早めの掲示、連絡、説明に心がける ③ 日常の中で学園、本学の P R に努める	
評価基準 (C) ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。 年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
① 各部と連絡調整を行い正確な事務処理ができたなら「3」	1 ② 3 4
② 事務業務の早めの計画、取り掛かり実行ができたなら「3」	1 2 ③ 4
③ 事務処理の記録とその保管が間違いなくできたなら「3」	1 2 ③ 4
④ 間違いの無い、学生への掲示ができたなら「3」	1 ② 3 4
⑤ 学生へ、保護者、来学者に対して丁寧な対応ができれば「3」	1 2 ③ 4
⑥ 日常生活の中でなにかしらの学園の P R ができたなら「3」	1 ② 3 4
評価結果に基づく改善方策の策定 (A)	
事務処理については毎年少しずつは早めに取りかかり正確さも増してきているとは思いますが、完璧にはならない。 学園の P R は意識はしているがなかなか機会が無いような気がする。	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された

平成 29 年度個人の S D 宣言

[氏名 藁部 初]

個人の F D 宣言 (P)	
① 再課程認定や認証評価に向けて関係者と協力して準備する ② 一人でも多く学生の名前を覚え、適切に支援・指導をする。 ③ 新しい奨学金制度を理解し、本学の特色を含めて広く周知する。	
行動目標 (D) それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
① 再課程認定や認証評価に係る資料 (情報) からどのような準備をするべきか把握し、計画的に準備する。 ② 対応する学生の名前を覚え、次に学生と会うときには名前を覚えておくようにするとともに、その学生がどのような学生なのか観察しながら適切に支援・指導する。 ③ 奨学金制度に係る資料や研修を通して、新しい奨学金制度を理解する。また保育科や現代ビジネス科及び専攻科福祉専攻での学びを教務の仕事を通してより深く理解し、その特色を周囲に広める。	
評価基準 (C) ※～ができて「 3 」と、数値基準をお入れください。 年度末に「 3 」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
① 再課程認定手続きが滞りなく申請でき、認証評価に係る資料作成ができて「 3 」	1 2 ③ 4
② 学生の名前を 50 人以上覚えて「 3 」	1 ② 3 4
③ 奨学金制度を理解し、行事等での参加者からの質問に答えることができて「 3 」	1 2 ③ 4
	1 2 3 4
評価結果に基づく改善方策の策定 (A)	
再課程認定に関する資料作成は担当教員と協力して年度内に作成することができた。認証評価については、次年度以降も引き続き継続して作成していく。	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された

平成 29 年度個人の S D 宣言

[氏名 兼佐 麻友美]

個人の S D 宣言 (P)	
① 正確で迅速な業務の遂行 ② 学生と積極的に交流する ③ 本学の P R に努める	
行動目標 (D) それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
① 関連部署、先生方と報告・連絡・相談を密にする ② 学生の顔と名前を覚え、声掛けを積極的に行う ③ 学内外での本学行事に積極的に参加する	
評価基準 (C) ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。	評価結果
年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	
① 関係部署の担当者と連携し、計画的な業務遂行ができたなら「3」	1 ② 3 4
② 関係書類の記録 (新しいマニュアル) ができたなら「3」	1 ② 3 4
③ 就職指導課に相談をしに来た学生の顔と名前を6割覚えられたら「3」	1 2 ③ 4
④ 学内外の行事に3つ以上参加して「3」	1 2 ③ 4
	1 2 3 4
	1 2 3 4
評価結果に基づく改善方策の策定 (A)	
① 情報をきちんと精査し、確認を怠らないよう気を引き締め業務にあたる。 ② 各種奨学金 (日本学生支援機構や保育士修学資金) において新設や変更等が行われ、思うように作りあげられなかった。次年度に完成を目指したい。	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された

平成29年度個人のSD宣言

[氏名 青井京子]

個人のFD宣言 (P)	
① 間違いのない業務 ② 元気な挨拶 ③ 短大へのアピール	
行動目標 (D) それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
① 間違いに気付き速く訂正する ② 学生の名前を覚える ③ 周りの声かけ	
評価基準 (C) ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。 年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
ミスのない業務が出来て「3」	1 2 ③ 4
学生に声掛けが出来て「3」	1 2 3 ④
一人でも多く来てもらって「3」	1 ② 3 4
	1 2 3 4
	1 2 3 4
	1 2 3 4
評価結果に基づく改善方策の策定 (A)	
他の店で安い文具があるので、最低限売れると思われる商品を残らないように仕入れをしていきたい。	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された

平成 29 年度個人の S D 宣言

[氏名 吉井 真也]

個人の F D 宣言 (P)	
① 効果的な学生募集に努め、入試広報室全員一致協力して業務に携わる。 ② 学内の情報をいち早く収集し、学内学外への確かつ正確に発信する。 ③ 定員充足率 100%を目指し、本学の建学の精神を積極的に広報する。	
行動目標 (D) それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
① ホームページ、SNS を積極的に活用し、本学の教育特色を発信する。 ② いつでも、誰に対しても明るい笑顔、楽しい会話、元気な声でのあいさつを実践する。 ③ 高校訪問、ガイダンス、入学相談、各種進学説明会等に積極的に参加する	
評価基準 (C) ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。 年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
① ホームページ、SNS での確かな情報発信することができて 「3」	1 2 ③ 4
② 全職員に入試広報に関する情報の提供と共有化を図ることができて 「3」	1 2 ③ 4
③ 自分から積極的にあいさつ、声かけができて 「3」	1 2 3 ④
④ 高校訪問で進路指導部の先生方との信頼関係が築けて 「3」	1 2 ③ 4
⑤ 建学の精神[礼節と勤労]に裏付けられた本大学のよさや先輩達の活躍の様子を高校生、保護者に理解してもらうよう広報活動することができて「3」	1 2 ③ 4
⑥ 定員充足率が 90%以上で 「3」	1 2 3 ④
評価結果に基づく改善方策の策定 (A)	
① SNS での情報発信を高校生に共感してもらえるような方法で発信していくよう努めた い。	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された

平成 29 年度個人の S D 宣言

[氏名 恵利 有子]

個人の F D 宣言 (P)	
① 健康診断、調査や検査等を計画的に実施し、事後処理及び報告を適格に行う。 ② 学生が心身ともに健康な学校生活を送れるよう助言や指導を行う。 ③ 学生が充実した学校生活を送れるようにサポートする。	
行動目標 (D) それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
① 前年度の計画に基づき、検診・検査の実施、事後処置、結果報告まで効率よく実施する。 ② 救急処置や健康相談活動に関する専門性を高めるとともに、カウンセラーや関係機関との協力・連携を図り、学生への支援を行う。 ③ 出入口を開放し、積極的に学生と関わるように努力する。	
評価基準 (C) ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。 年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
① 検診等の実施を計画的に行い、期日内に事後措置ができたなら「3」	1 2 3 ④
② 学生一人ひとりの状況を把握し、適切な対応ができたなら「3」	1 2 ③ 4
③ 関係者との連携を取り、学生への対応ができたなら「3」	1 2 ③ 4
④ 実習前の検査提出が最終日までにできたなら「3」	1 ② 3 4
⑤ 実習前に健康診断証明の発送、腸内細菌検査結果の配付ができたなら「3」	1 2 3 ④
⑥ 適切なアドバイスや情報の提供ができたなら「3」	1 2 ③ 4
評価結果に基づく改善方策の策定 (A)	
○ 腸内細菌検査機関の変更を行い、学生が提出しやすい環境(配布時から採便しても良い)が整ったが、保育科1年生の未提出が毎回多かった。何らかの工夫を検討していきたい。	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された

平成29年度個人のSD宣言

[氏名 森崎 麻衣子]

個人のFD宣言 (P)	
<p>① 実習の流れを掴む。職務が円滑に進むよう自ら工夫できるようになる。</p> <p>② 相手の立場に立っての共感と思いやりを心がけ、信頼関係を築く。</p> <p>③ 地域の方々との関わりを増やしていく。</p>	
行動目標 (D) それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
<p>① 書類作成においてミスがなくしていく。時間に余裕を持ち行動できるようする。</p> <p>② 積極的に話しかけ、配慮が必要な学生への支援を行えるようにする。指導室にて、指導案の書き方や、日誌の書き方の指導を行い、実習に対する不安等を減らしていく。</p> <p>③ 出合いを大切にし、地域との関わりを深めていけるようにする。</p>	
評価基準 (C) ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。 年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
・書類作成に大きなミス無くできて「3」	1 ② 3 4
・職務がスムーズにいく工夫できて「3」	1 ② 3 4
・実習の流れを掴めて「3」	1 2 ③ 4
・学生への指導ができ、実習に意欲を持って臨む支援ができて「3」	1 2 ③ 4
・教職員の方々と協力できて「3」	1 2 ③ 4
・地域の方々との関わりを大切にできて「3」	1 2 ③ 4
評価結果に基づく改善方策の策定 (A)	
<p>書類作成にてミスがあり今後気をつけていく。また、学生指導において、実習前に気になる学生と面談を重ね実習意欲を持ち臨めるよう支援できだが、まだまだ支援が必要な学生が見られる。他教職員と連携をとり円滑にすすめていきたい。</p>	

<評価結果>

1：全く達成されなかった 2：あまり達成されなかった 3：ある程度達成された 4：かなり達成された

平成 29 年度個人の S D 宣言

[氏名 廣岡 貴治]

個人の F D 宣言 (P)	
<ul style="list-style-type: none"> ① 円滑なスクールバスの運行及び無事故運転。 ② 自分から先に学生に対し挨拶を実施する。 ③ 環境整備など学生生活が快適な環境を維持する。 	
行動目標 (D) それぞれの宣言の①～③の項目に対応させてください。	
<ul style="list-style-type: none"> ① 利用人数の増減に慌てることなく、安全運転に専念する。 ② バス利用者以外の学生もなるべく覚える。 ③ 計画を立て、環境整備を実施し、学生のアレルギーに注意して薬剤等は扱うようにする。 	
評価基準 (C) ※～ができて「3」と、数値基準をお入れください。 年度末に「3」評価を目指します。(最低到達ライン)	評価結果
円滑・遅延のない運行及び無事故が達成できて「3」	1 2 ③ 4
スクール利用者以外 20 名覚えて「3」	① 2 3 4
抜けのない環境整備が実施できて「3」	1 2 ③ 4
	1 2 3 4
	1 2 3 4
	1 2 3 4
評価結果に基づく改善方策の策定 (A)	
<p>スクールバス遅延はなく、円滑な運行ができた。ただし、バス利用者以外の名前を 20 名覚えることができず、今後の課題としたい。</p>	

<評価結果>

1 : 全く達成されなかった 2 : あまり達成されなかった 3 : ある程度達成された 4 : かなり達成された